

第Ⅲ期富津市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査の実施について (こども大綱勘案後)

1 目的

「第Ⅱ期富津市子ども・子育て支援事業計画」の計画期間が令和6年度末をもって終了することから、「第Ⅲ期富津市子ども・子育て支援事業計画」の策定にあたり、「幼児期の教育・保育」及び「地域子ども・子育て支援事業」の「量の見込み」の設定に必要な「今後の利用希望」を把握するため、未就学児及び小学生の保護者を対象にアンケート調査を実施する。

2 アンケート調査の実施方法等

「市町村子ども・子育て支援事業計画における『量の見込み』の算出等のための手引き」(平成26年1月20日付事務連絡。)及び「第三期市町村子ども・子育て支援事業計画等における『量の見込み』の算出等の考え方」(令和5年9月20日付事務連絡。以下「第三期手引き」)の内容を踏まえ、調査を実施する。

調査対象者		就学前児童（0～5歳） 全員の保護者	就学児童（小学1～6年生） 市内小学校の保護者
調査件数		約1,000件	約1,800件
調査方法	送付	郵送	学校配布
	回答	返信封筒による返送又はWEB フォーム入力	学校回収又はWEBフォーム 入力
調査内容		家族の状況（兄弟姉妹の数等）、保護者の就労状況、子どもの虐待・貧困、ヤングケアラーに関する事など	
		保育所等の利用状況・休日の 利用希望、地域子育て支援セ ンターの利用状況、子ども病 気の際の対応など	放課後の過ごし方、休日や 長期休業期間中の学童保育 の利用希望、子ども病気の 際の際の対応など

※調査票は無記名形式

3 第Ⅲ期子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の考え方

第Ⅰ期子ども・子育て支援事業計画では、国から発出された「調査票イメージ」及び「ワークシート（推計ソフト）」を用いて算出した「量の見込み」が、実績値とかい離している事例が見られたことを踏まえ、第三期手引きにおいて、第Ⅲ期子ども・子育て支援事業計画の策定においては、「必ずしも手引きに記載している方法により算出する必要はなく、各市町村の実情に応じて適切に対応することが可能である」旨が示されたことから、以下により量の見込みを算出する。

(1) 幼児期の教育・保育

現在設定している「教育・保育提供区域」の見直しの検討のため、潜在的ニーズを把握する必要があることから、国から発出されたワークシート（推計ソフト）を用いて量の見込みを算出する。

(2) 地域子ども・子育て支援事業

第Ⅱ期子ども・子育て支援事業計画において、国から発出されたワークシート（推計ソフト）を用いて算出した量の見込みが、実績値とかい離していたことから、計画期間の中間年である令和4年度において、実績値を基に量の見込みを見直していることを踏まえ、第Ⅲ期子ども・子育て支援事業計画では、これまでの実績値を基に量の見込みを算出する。

4 調査スケジュール（予定）

令和6年3月初旬～下旬 アンケート調査実施

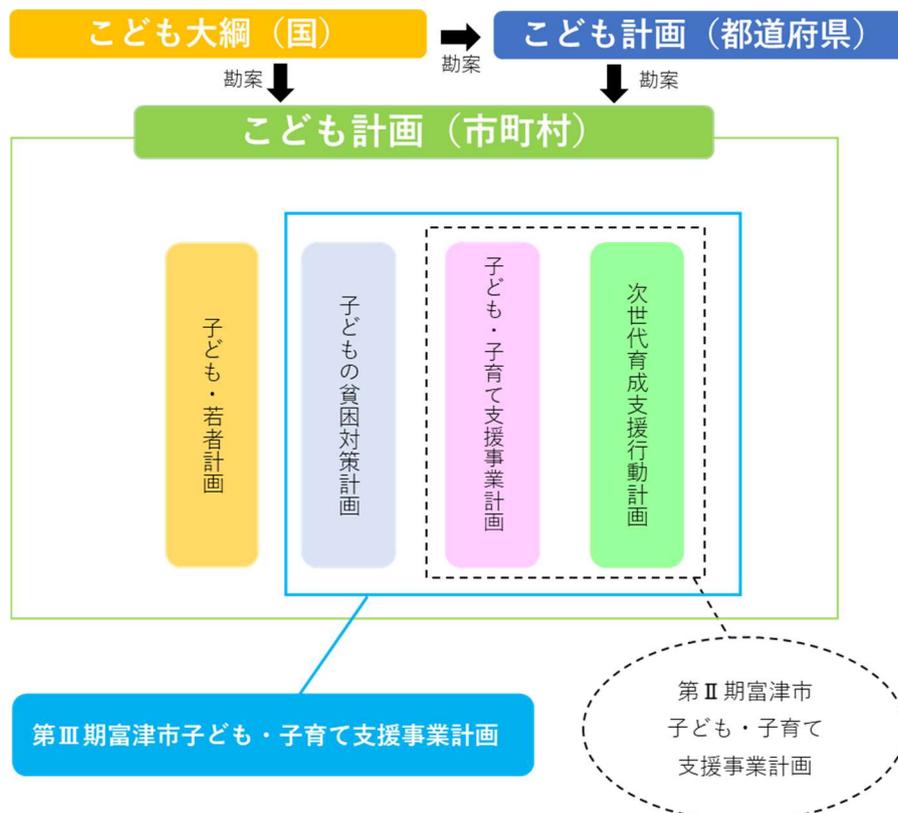
※学校による回収は3月中旬まで

5月末 アンケート調査結果報告書納品

6月～7月 アンケート調査結果報告（子ども子育て会議、議会）

5 こども計画の策定について

こども大綱で示された方針を踏まえ、庁内関係部局と協議し、こども計画の策定について検討します。また、計画策定に際し、子ども・若者から意見を聴取します。



《参考》 令和5年度第1回子ども・子育て会議資料抜粋